

長野県出資等外郭団体改革状況検証シート (公益法人用)

【対象決算年度:平成23年度】

1 団体の概要

団体名 (所在地)	公益財団法人長野県アイバンク・臓器移植推進協会 長野市若里7丁目1番5号			代表者	理事長 関 隆教
設立根拠	整備法	設立年	平成元年10月	県所管部局 (課)	健康福祉部(医療推進課)
設立の沿革	設立目的(寄付行為・定款上) H1 (財)長野県腎バンク設立 H6 (財)長野県腎バンク・アイバンク協会 H10 (財)長野県アイバンク・臓器移植推進協会 H22 公益財団法人長野県アイバンク・臓器移植推進協会に組織・名称変更				
具体的な事業内容 ・眼球提供者の登録管理 ・角膜移植術に必要な角膜斡旋 ・角膜移植に係る感染症の検査 ・臓器移植に関する知識の啓蒙・啓発					
事業執行状況を示す主な指標 平成23年度の実績 ・眼球提供者登録件数 1,230人 ・献眼者 19人 ・角膜移植者数 33人					
基本財産(円)	260,000,000	うち県の出 捐額(円)	40,000,000	県出捐率 (%)	15.4%
主な出捐者・出捐額(円)・出捐率(%) ライオンズ 151,000,000(58.1%) 民間企業 41,594,000(16.0%)					

\* 役員員数は各年度当初現在、平均年齢及び平均年収は平成23年度当初現在

役員数	年 度		H20	H21	H22	H23	
	役員数	常 勤	うち県職員	1	1	1	1
非 常 勤		うち県職員	21	21	16	16	
職員数	常 勤	うち県職員	2	2	1	1	
	非 常 勤		2	2	2	2	
常勤職員計			1	1	1	1	
非常勤職員計			23	23	18	18	
県職員計(非常勤役員除く)			0	0	0	0	
役員平均年齢	62	役員平均年収(千円)	3,113	職員平均年齢	-	職員の平均年収(千円)	-

\* 次表は 23年度の状況で、( )内は22年度

収 益 等 状 況	23年度		22年度		県 費 受 入 状 況	(単位:千円、%)	
	經常収益(A)	12,920	(13,826)	補助金		3,655	(3,648)
經常費用(B)	13,958	(12,725)	事業費	1,828	(1,824)		
經常損益(A)-(B)	1,038	(1,101)	運営費	1,827	(1,824)		
当期損益	1,038	(1,101)	交付金				
公益事業比率	70.1	(67.9)	正味財産比率	99.8	(99.9)		
經常比率	92.6	(108.7)	流動比率	1,485.7	(5,722.1)		
人件費比率	51.1	(54.1)	固定比率	97.0	(97.1)		
管理費比率	27.8	(32.1)	固定長期適合率	96.8	(97.1)		
事業支出伸び率	9.7	(-1.9)	借入金依存率	0.0	(0.0)		
補助金等比率	28.5	(26.7)					
人件費関係係数(再掲)				3,655	(3,648)		

民間(NPO含む)との競合状況

献眼斡旋事業は、厚生労働大臣事業であり、県内では当協会のみがこの事業を行っている。

2 団体の改革推進の状況

改革基本方針	協会の事業推進に対して積極的に支援する。
--------	----------------------

改革基本方針		実施状況	
実施年月		実施年月	
H16/4	協会職員の人件費の補助金化	H16/4	職員2名の人件費相当の補助金化
H16/4	事業運営のあり方検討	H16/4	自主財源の確保(募金箱)
H17/4	普及啓発事業への人的支援	H19/4	非常勤職員1名の減
		H21/4	角膜斡旋手数料の引き上げ
		H24/4	角膜斡旋手数料の引き上げ

経営計画等の策定状況	脆弱な組織体制、財政運営を余儀なくされているが、理事会、評議員会において今後の経営の健全化について検討を図っている。 ・角膜あっせん手数料の引き上げ実施 ・募金箱の設置により、財源確保 ・献眼登録者・献眼者の増にむけて施策の実施
情報公開の取組状況	当協会のホームページを更新し、業務内容や事業成果、決算状況等の財務内容を掲載し情報公開に努めている。 ・個人情報管理に留意している。
公益法人改革への取組状況	平成22年度4月1日新公益財団法人としてスタートした。

監査等結果	平成21年9月14日県総務部情報公開・私学課の特例民法法人の実地検査があり、「新公益法人会計準則の導入すること」の指摘を受け、平成21年12月から新公益法人会計ソフトを導入して、適正かつ迅速な会計処理を行っている。 決算にあたり監事2名の監査を受けている。なお、平成22年度からは、監事1名を税理士資格のある者とし、新公益財団法人移行に伴い経理事務の適正化に向けた監視体制を強化、整備した。 平成23年度実施の外部包括監査においては、経営状況に対し「自立的な経営のためには、安定的な収入が必要であり、普及啓蒙に注力できるように経営の合理化、財源確保が課題。」との意見であり、収入確保策として角膜あっせん手数料の引上げ、募金箱の設置等及び他の歳入確保の検討を行っているところである。
-------	--

団体の課題等	〔団体記載欄〕 昨今の経済金融情勢から基本財産運用益が期待できないこと、また、賛助会員も会費も減少し経営が厳しい。 〔県記載欄〕 献眼登録者、献眼者が減少傾向にある。平成20年度は、6年ぶりに一旦増加に転じたものの、平成21年度からは、献眼者が再び減少及び横ばいの状況にある。登録者数は臓器移植意思表示カード等による意思表示を含まない数(登録ではなく意思表示としているケース)であり、減少の要素となっているものの、引き続き普及啓蒙及び運営支援が必要である。 効率的予算執行に努めるとともに、更に歳入確保の工夫・努力が必要である。
--------	--

【財務の状況】(公益法人用)

団体名:(公財)長野県アイバンク・臓器移植推進協会

正味財産増減計算書

(単位:千円)

		平成21年度	平成22年度	平成23年度
一般正味財産増減の部	経常増減の部			
	経常収益(A)	16,521	13,826	12,920
	うち基本財産運用益	6,192	4,776	3,628
	うち受取会費	422	340	302
	うち事業収益	3,500	2,500	3,400
	うち受取補助金等	3,682	3,686	3,686
	うち受取国庫補助金			
	うち受取県補助金	3,645	3,648	3,655
	うち受取市町村補助金			
	経常費用(B)	12,793	12,725	13,958
	うち事業費	9,071	8,635	9,793
	うち公益事業費	9,071	8,635	9,793
	うち給料手当	4,761	4,564	4,689
	うち管理費	3,723	4,090	4,165
	うち役員報酬	1,320	1,320	1,320
	うち給料手当	916	1,006	1,125
経常増減(損益)額(C)=(A)-(B)	3,728	1,101	1,038	
経常外増減の部				
経常外収益(D)				
経常外費用(E)				
経常外増減額(F)=(D)-(E)	0	0	0	
一般正味財産増減(当期損益)額(G)=(C)+(F)	3,728	1,101	1,038	
一般正味財産期首残高(H)	4,649	8,377	9,478	
一般正味財産期末残高(I)=(G)+(H)	8,377	9,478	8,440	
指定増減正味の部				
受取補助金等				
うち受取国庫補助金				
うち受取地方公共団体補助金				
当期指定正味財産増減額(J)	0	0	0	
指定正味財産期首残高(K)				
指定正味財産期末残高(L)=(J)+(K)	0	0	0	
当期正味財産増減額(M)=(G)+(J)	3,728	1,101	1,038	
正味財産期首残高(N)	4,649	8,377	9,478	
正味財産期末残高(O)=(M)+(N)	8,377	9,478	8,440	

貸借対照表

		平成21年度	平成22年度	平成23年度
資産	流動資産	8,526	9,963	9,049
	うち現金預金	8,526	9,863	9,049
	固定資産	276,712	276,712	276,712
	基本財産	260,000	260,000	260,000
	うち土地			
	うち投資有価証券	259,270	159,920	259,860
	特定資産	16,541	16,541	16,541
	うち退職給与引当資産			
	うち減価償却引当資産	1,541	1,541	1,541
	その他の固定資産	171	171	171
資産合計	285,238	286,675	285,761	
負債	流動負債	149	401	609
	うち短期借入金			
	うち未払金	149	401	609
	固定負債			
	うち長期借入金			
うち退職給与引当金				
負債合計	149	401	609	
正味財産	指定正味財産			
	うち基本財産への充当額			
	うち特定資産への充当額			
	一般正味財産	285,089	286,190	285,152
うち基本財産への充当額	260,000	260,000	260,000	
うち特定資産への充当額				
正味財産合計	285,089	286,190	285,152	
負債及び正味財産合計	285,238	286,675	285,761	